

ピーチ・ジョン、Adobe Scene7 の採用により、 画像加工作業を自動化、および使い勝手のよい表示機能で 新たなショッピングの楽しさをユーザーに提供

【2010年9月30日】

アドビシステムズ株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：クレイグ ティーゲル、以下アドビシステムズ）は本日、株式会社ピーチ・ジョン（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：野口美佳、以下ピーチ・ジョン）が、アドビシステムズのクロスメディア配信プラットフォーム、Adobe® Scene7® を導入したことを発表しました。ピーチ・ジョンは、Adobe Scene7 のダイナミックイメージング（Dynamic Imaging）の採用により、見やすく使い勝手のよい表示機能によるユーザー体験の向上と、画像加工作業の自動化をあわせて実現しました。ピーチ・ジョンは、ユーザーにとって魅力的で使いやすいウェブサイトの構築による販売強化を目指しており、今回の Adobe Scene7 の採用もその取り組みの一環です。

ピーチ・ジョンは、下着、アウターなどのアパレル製品の通販で 20 代～ 30 代の女性を中心に高い支持を得ています。同社は、リアル店舗とインターネットショッピングサイトを中心に事業を展開していますが、数年前からウェブサイト「ピーチ・ジョン・ザ・ウェブ」の利用率が急増していることから、ウェブの強化に取り組んでいました。

ピーチ・ジョンが、今回のウェブサイト強化で目指したのは、ユーザーがストレスを感じない表示機能でした。Adobe Scene7 のダイナミックイメージングの採用により、製品情報ページは、スライドバーを上下させるだけで、画像の拡大・縮小が自在にでき、サイトの訪問者は商品の質感を実感できるようになりました。カラーバリエーションのチェックもページの遷移をせずにシームレスにできるようになり、ユーザーは紙のカタログと同じ「迷う楽しみ」をストレスを感じずに体験できるようになりました。また、ダイナミックイメージングは、高解像度の画像を 1 点サーバにアップするだけで、必要にあわせてサイズやフォーマットを最適化し、配信するため、画像ごとの調整やトリミングなど煩雑な手間が一切不要になりました。これにより、ピーチ・ジョンは、画像制作コストを従来の 10 分の 1 以下にまで削減できました。

また、ピーチ・ジョンは、Scene7 の e カタログ（eCatalog）機能もあわせて採用、紙のカタログの PDF を基に、インタラクティブな電子カタログをほぼ自動的に作成できるようになりました。これにより、200 ページ以上の紙のカタログの電子カタログへの変換という作業が自社内で、1 時間たらずでできるようになりました。

ピーチ・ジョンは、今後も電子カタログのコンテンツの充実と、使いやすさ、制作・管理の効率化を進め、ウェブ・ショッピング体験の向上を追及していきます。画像切り替え機能のバリエーションの追加などに Scene7 の機能をさらに活用することを検討しています。

本リリースに関する事例は、以下の URL からダウンロードして頂けます。
www.adobe.com/go/scene7_casep_jp

アドビ システムズ社について

アドビ システムズ社は、時間や場所、利用するメディアや機器を問わず、あらゆるユーザーの、アイデアや情報との関わり方に変革をもたらしています。アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、Web サイトに掲載されています。